

## ワーキングチーム会議（第4回）の論点案

### （1）消防団員の装備、教育・訓練などについて

大規模地震・津波災害を考えた場合、消防団の装備、教育・訓練などについて、特に  
どういったことを充実させるべきか。

- 車両、資機材
- 個人装備（ライフジャケット、安全靴など）
- 災害活動時のバックアップ体制（食糧、燃料など）
- 広域応援機能
- 教育・訓練

### （2）消防団員の処遇改善・確保策の推進について

消防団員の報酬・手当について、地域によってかなり違いがあることをどう考えるか。

- 報酬について
- 手当について（訓練時、災害出動時）

消防団への入団促進を進めるため、どういった取組が望まれるか。

- 国・都道府県
- 市町村・地域・事業所・住民

## 主な検討事項

### 1 消防団の役割について

(視点)

大規模災害時の役割

平常時の役割

地域コミュニティにおける役割

(参考)

「消防団の充実強化についての検討会」報告(平成22年12月)

「地域総合防災力の充実方策に関する小委員会(消防審議会)」報告(平成20年11月)

### 2 大規模災害時における消防団活動のあり方について

東日本大震災の教訓を踏まえて、消防団の活動はどうあるべきか。(水門等の閉鎖、住民の避難誘導、消火、救助、避難所支援ほか)

### 3 消防団員の安全確保について

消防団員の活動時の安全を確保するためには、どのようにすべきか。(装備、訓練、体制、その他)

消防団員の惨事ストレス対策について

### 4 活動時の情報伝達について

個々の団員に確実に情報を伝達するには、どのようにすべきか。  
(伝えるべき情報の範囲、優先順位、伝達手段、体制)

### 5 地域住民の防災意識向上のための啓発について

住民が、津波警報などにに基づき、自らの判断で逃げることができるようにするには、どのようにすべきか。そのためには、消防団は何をすべきか。

消防団だからこそできることがあるのではないか。

少年消防クラブ、婦人防火クラブとの連携について

自主防災組織との連携について

## 6 消防団員の装備、教育・訓練について

1 から 5 を踏まえて、消防団の装備、教育、訓練はいかにあるべきか。

## 7 消防団員の処遇改善・確保策の推進について

1 から 5 を踏まえて、消防団員の処遇はどうあるべきか。

これまで消防団員の確保策について様々な提言がなされているが、それらを進めていくにはどうすべきか。

## 8 その他必要な事項について

消防団の広域応援について

警察、自衛隊との連携について